

たかおか

市議会 だより

永姫の入城に市民も熱狂

写真提供：高岡市美術作家連盟 写真部

No.16 9月定例会号
平成21年(2009年)12月1日発行

9月定例会のあらまし	2P
代表質問	4P
個別質問	6P
委員会の動き	10P



開町
400年
Anniversary
The City of
Takaoka
1609-2009

編集 ■ 議会広報編集委員会
発行 ■ 富山県高岡市議会

〒933-8601

高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



補正予算・条例など18議案を可決

平成20年度決算2件を認定

代表・個別質問に21人が登壇

可決した主な議案等

条例

手数料条例の一部改正

長期優良住宅の普及の促進に関する法律の施行に伴い、所要の手数料を徴収するもの。

国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令等の一部改正に伴い、出産育児一時金等の支給額を38万円から42万円に暫定的に引き上げるもの。
(平成21年10月1日から平成23年3月31日までの出産について)

その他

指定管理者の指定

(雨晴マリーナ)

指定管理者 雨晴観光開発・ジョイマリンエンジニアリング共同企業体

工事請負契約の締結

①中田地区コミュニティ施設新築工事
中田福祉会館の老朽化に伴



高橋市政が本格的始動

人事

副市長

林 時彦氏(富山市寺町)

けや木台

教育委員会委員

高田 哲氏(福岡町福岡新)
上野 慶夫氏(福岡町下糞)
氷見 哲正氏(川原町)

公平委員会委員

齊藤 周子氏(末広町)

監査委員

山岸 武氏(福岡町福岡新)

初日提出議案

平成21年度 補正予算

◇一般会計	全会一致で可決
◇国民健康保険事業会計	全会一致で可決
◇下水道事業会計	全会一致で可決
◇老人医療事業会計	全会一致で可決
◇介護保険事業会計	全会一致で可決
◇市民病院事業会計	全会一致で可決
◇水道事業会計	全会一致で可決

条例

◇手数料条例の一部改正	全会一致で可決
◇国民健康保険条例の一部改正	全会一致で可決

その他

◇指定管理者の指定(雨晴マリーナ)	全会一致で可決
◇工事請負契約の締結(中田地区コミュニティ施設新築工事)	全会一致で可決
◇工事請負契約の締結(戸出東部小学校校体育館改築工事)	全会一致で可決

認定《平成20年度決算》

◇企業会計	全会一致で認定
◇(高岡市民病院事業会計)	全会一致で認定
◇(水道事業会計)	全会一致で認定
◇(工業用水道事業会計)	全会一致で認定
◇(簡易水道事業会計)	全会一致で認定
◇一般会計・特別会計	全会一致で認定
◇(一般会計)	賛成多数で認定
◇(国民健康保険事業会計)	賛成多数で認定
◇(下水道事業会計)	賛成多数で認定
◇(交通災害共済事業会計)	全会一致で認定
◇(荻布奨学金事業会計)	全会一致で認定
◇(駐車場事業会計)	全会一致で認定
◇(老人医療事業会計)	全会一致で認定
◇(工業団地造成事業会計)	全会一致で認定
◇(農業集落排水事業会計)	全会一致で認定
◇(介護保険事業会計)	賛成多数で認定
◇(後期高齢者医療事業会計)	賛成多数で認定

議決結果一覧

6月定例会後～9月定例会前

- 6月25日 議会広報編集委員会
7月14日 民生病院常任委員会
議会広報編集委員会
16日 総務文教常任委員会
経済消防常任委員会
議会運営委員会
24日 議員協議会
臨時会本会議
総務文教常任委員会
8月 5日 建設水道常任委員会
11日 新幹線・公共交通対策特別委員会
開町四〇〇年記念事業特別委員会
24日 議会運営委員会
代表者会議
26日 正副常任委員長会議

9月定例会

- 9月 1日 代表者会議
議員協議会
本会議（提案理由説明）
3日 本会議（代表質問）
7日 議会運営委員会
本会議（個別質問）
8日 本会議（個別質問）
水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
9日 代表者会議
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
10日 建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
14日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議（議案など議決）
15日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
17日 決算特別委員会
水道病院決算特別委員会
18日 決算特別委員会
水道病院決算特別委員会
24日 代表者会議
25日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
29日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
代表者会議
本会議（決算の認定など議決）

① 戸出東部小学校校舎改築工
事
契約金額 8億776万円

7月臨時会

選挙管理委員会委員選挙当
選人
稲尾 次郎氏（伏木本町）
蒲田 芳子氏（福岡町蓼島）
齋藤 壽雄氏（鐘紡町）
田邊 恵子氏（野村）
選挙管理委員会委員補充員
選挙当選人
山本 毅氏（内免三丁目）
石橋 陽二氏（東上関）
岩坪 正人氏（伏木国分三丁目）
佐伯 邦夫氏（福岡町下蓼新）



改築工事が始まった戸出東部小学校

② 戸出東部小学校校舎改築電
気設備工事
契約金額 1億6590万円

一般会計補正予算の概要

一 般 会 計		（補正額 20億1,126万円）
《主な事業》	高岡駅周辺地区整備事業費	3億9,015万円
	学校ICT環境整備事業費	1億5,654万円
	学校施設耐震化事業費	1億4,000万円
	除雪対策事業費	1億3,413万円
	道路改良事業費	6,500万円
	保育所環境整備事業費	5,211万円
	農業土木事業費	4,250万円
	地区公園等整備事業費	3,600万円
	障害者自立支援費	3,145万円
	太陽光発電装置設置事業費	2,400万円

追加提出議案

人 事

- ◇副市長の選任（2件）……………全会一致で同意
◇教育委員会の委員の任命（2件）……………全会一致で同意
◇公平委員会の委員の選任……………全会一致で同意
◇監査委員の選任……………全会一致で同意

陳 情

- ◇高岡市西田地内の大規模養鶏場建設反対について（太田校
下連合自治会 会長 中木勝美ほか11名）……………全会一致で継続審査

7月臨時会

そ の 他

- ◇工事請負契約の締結（戸出東部小学校校舎改築工事）……………全会一致で可決
◇工事請負契約の締結（戸出東部小学校校舎改築電気設備工
事）……………全会一致で可決

代表質問

今定例会では、3会派の代表が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民クラブ
山沼 茂敏

市政運営に対する決意

問 高岡の現状、市民の期待をどう受け止め、どのような基本姿勢で公約実行と市政・まちづくりに取り組むのか。

市長 ものづくりの技をはじめ、全国に誇れる財産が多いが、十分に活かされていない。記念すべき節目の年を迎え、本市のさらなる発展に向けて、市政に対する市民の期待は高まっている。北陸新幹線の開通を高岡発展の起爆剤とするため、新幹線新駅や現駅の周辺整備、幹線道路網の整備等を戦略的・重点的に進めたい。また、伝統や地域性を活かした新たな産業創造と広域連携による新たな観光戦略の確立により、交流人口を拡大し、中心市街地活性化や新たなビジネスチャンスの創出に努めたい。まちづくりと開町400年を契機に盛り上がった市

「元気創造」プロジェクト

民のエネルギーを結びつけ、高岡の新たな発展、元気な高岡の創造に全力を挙げたい。

問 「地域産業創造」「環境共生」「広域連携」「明日を担う人づくり」「安全・安心」の5つのまちプロジェクト実現に向けた今後の取り組みは。

市長 各担当部局で具体的な事業等の検討を行っており、平成22年度予算の中で具体化した。検討を進める中で21年度中にできるものは、速やかに実施する考えであり、今回の9月補正予算においても、



市民パワーを結集して、元気な高岡に

「環境共生」では一般住宅用太陽光発電システム設置補助、「安全・安心」では通学路の安全確保、「明日を担う人づくり」では学校の情報機器整備等に対応したところである。

独自の雇用経済対策

問 国の経済危機対策とともに、市としては雇用経済対策にどう取り組んでいくのか。

市長 これまでも、国の経済対策と呼応した緊急雇用創出事業の活用、制度融資の要件緩和等に努め、経済危機対策を中心として、20億円以上の補正予算を計上するなど、できる限り対応してきた。今後も、地域経済の動向に的確に対応しながら、各種事業の実施に取り組みとともに、地場産品の活用や、金融面において、中小企業者に配慮した運用に努めるなど、地場産業振興に力を注いでいきたい。

持続可能な財政運営

問 平成20年度の決算から本市の財政状況をどのように認

識しているのか。また、今後の財政見通しは。

市長 普通会計決算では、一般財源総額が前年度並みとなったが、歳出総額は約39億円増加した。ここ数年は、基金の取り崩しにより財源不足を補うことで、収支の均衡を保っており、財政状況は非常に厳しいと認識している。財政



社民クラブ
松崎 義彦

進出企業の受け皿

問 平成21年7月の国内の完全失業者数は前年比103万人増となる359万人、県内の有効求人倍率も0.46倍と、企業を取り巻く環境、雇用情勢は厳しさを増している。こうした状況の中、今後の企業用地の造成、優良企業の誘致及び高岡オフィスパークの企業立地の展望は。

市長 企業用地の造成は、既存工業団地の分譲状況を勘案しながら、計画的に進めたい。企業立地は、ビジネス交流圏などの機会をとらえ、本市の立地環境をPRし、積極的に企業誘致を図っていき

見通しは、市税収入が景気動向等の影響を受けるため不透明だが、非常に厳しい状況が続くと思われる。今後の財政運営は、施策・事業の選択と限られた財源の重点的、効率的な配分に徹することにより、持続可能な財政運営を着実に推進していくことが重要と考えている。

い。高岡オフィスパークは、これから進めていく北陸自動車道のスマートインターの設置により、立地環境が大きく向上するものと考えている。

世界文化遺産登録に向け

問 登録に係る審査を行う世界遺産委員会を統括するユネスコの事務局長の話では、構成資産を絞ることが重要としている。この意見を参考にすれば、高岡の方向性が見えてくると思うが、見解は。

教育長 近世高岡の文化遺産群は、世界的・国際的な観点で代表性や典型例となり得るような顕著で普遍的な価値の証明が十分との評価を受けた。そして、主題の再整理と構成資産の組み換え、さらなる比較研究が課題として示された。この課題の克服には、該当する資産を掘り起こし、

その価値を磨く地道で息の長い取り組みが重要と考えている。構成資産の絞り込みは、こうした取り組みの中で整理し、また県との協議も重ね、さらには、文化庁や有識者の指導も受けながら、今後、十分に検討していきたい。



世界文化遺産登録を目指す取り組みを

全列車停車の努力を

問 新幹線新駅は、県西部地域ののみならず飛越能の広域的交流機能の玄関口としての様々な条件整備はもろんだが、全列車の停車が、重要な課題である。今後の取り組みと決意を問う。

市長 市では、県西部5市を

はじめ、飛驒・能登の自治体を訪ね、新駅を核にした新たな連携施策の推進を呼びかけるなどした。全列車停車は、本市のみならず飛越能の自治体共通の大切な課題であり、その実現に向け、全力を挙げて取り組みたい。

両駅を結ぶまちづくり

問 平成26年度までの北陸新幹線の金沢開業に向け、J R高岡駅周辺から新幹線新駅に



自民高岡・
新市民クラブ
市長 起也 嶋

エコシティの実現に向けて

問 「環境共生のまち」について問う。

(1)国は、公共施設への太陽光発電システムの導入に、率先的に取り組んでいくとしているが、本市の計画と目標は。
(2)海岸漂着物処理推進法の施行などを踏まえ、今後、海岸漂着ごみ対策にどのように取り組むのか。

市長 (1)本庁舎と福岡庁舎に、合計20kW程度の発電システムをモデル的に設置する予

かけての、中心市街地の変化にとぎわいの創出に期待が膨らむ。新しい一体的なまちづくりの総仕上げを、どのような視点を重視し進めるのか。
市長 両駅周辺を含む中心市街地の特性を十分活かし、両駅を核として、これらを一体的、有機的に連携させたまちづくりを進めていく必要がある。併せて、「飛越能86万人の交流のまち」として、新たな魅力を付加したまちづくりを進めていきたい。

定である。今後、学校や公共施設の改築等に合わせて積極的に導入することとしている。具体的な計画と目標は、平成21年度に策定予定の環境基本計画の中に盛り込みたい。



公共施設への太陽光発電の導入を(写真は東京都世田谷区での例)

(2)平成21年7月の法施行とともに、地域グリーンニューデール基金が創設され、都道府県が行う漂流・漂着ごみの回収・処理等の推進に対し、国の財政措置が講じられることとなった。県では、この基金を活用し、法に基づく地域計画を策定する予定と聞いている。市としては、松太枝浜や国分浜などの漂流・漂着ごみ対策について盛り込んでもらえるよう働き掛けるとともに、県や地元関係者と連携を密にし、漂流・漂着ごみの処理に努めていきたい。

拠点性を高めるために

問 北陸新幹線の開業に合わせ、首都圏や沿線地域からの誘客を図るとともに、飛越能地域の玄関口としての拠点都市となるよう努めなければならぬ。広域連携を一層深め、各地域の観光資源をつなぐことが必要と考えるが、展望は。

市長 新幹線新駅の玄関口としての機能が十分に発揮されるよう、駐車場などの周辺整備を行い、利便性を高めていきたい。また、飛越能地域の観光資源をネットワーク化し、観光客のニーズに合った観光プログラムを開発、発信していきたい。そのためには、民

間も含めた観光関係者との幅広い広域的な連携体制の構築が必要である。これらの課題について、庁内プロジェクトチームを設置し、検討を進めており、平成21年内にも結論を得たいと考えている。

開かれた市政運営

問 市民との対話の方法は。

市長 平成21年8月から開始した「ふれあいトーク」は、現場主義の考え方のもと、様々な分野の団体等の活動場所、テーマに基づいて語り合うものである。また、11月から地区別の「わがまちトーク」を始め、できるだけ早く市内36地区で開催することとしている。このほか様々な機会に、市民の皆様と意見のキヤッチボールをしながら、市政に反映させていきたい。

一日も早い発注を

問 国の公共投資臨時交付金を活用する事業の早期発注を。
総務部長 交付金は公共投資を円滑に実施するために交付されるものである。地域経済・雇用状況に効果をもたらすものと認識しており、早期に工事発注するよう関係部局に指示をしていきたい。

個別質問

今定例会では、18人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



磨伊 義広
自民クラブ

高岡の気象情報

問 伏木地区と市中心部では気温など気象条件が多少異なっている。新たに市中心部に観測ポイントを設置し、観測データを表示しては。

総務部長 気象庁では伏木測候所以外の観測所設置は難しいとしている。しかしながら、市中心部の気象情報を提供することは観光面、防災面で有効であるため、市庁舎敷地内等の既設の観測機器の拡充、活用による気象情報の提供について調査、検討したい。

東海北陸道の経済効果

問 東海北陸自動車道の開通による経済波及効果をどのように考えているか。

産業振興部長 開通により、観光客増と企業活動の活発化の両面で、約4億6千万円程度の経済効果があったと試算している。また、ビジネスチ



東海北陸自動車道の開通で、瑞龍寺の観光客も増加



青木 紘
自民クラブ

行政機構の見直し

問 行財政改革を進めるに当たっては、上水道、下水道の両事業の機構一本化など、行政機構の見直しと再編をすべきでは。

市長 計画的な職員数の削減

等の実施により、少数精鋭の効率的な行政運営を目指したい。また、効率的な組織機構のあり方を検討するうえで、上下水道事業の一本化も課題の一つと認識しており、新たな行財政改革指針を策定する中で検討していきたい。

積極的な推進を

問 ごみ収集やリサイクル施設の運営を、積極的に民間委託すべきでは。

生活環境部長 ごみ収集業務については、民間委託を段階的に推進している。大規模災害などに迅速な対応ができる体制も重要であり、一定程度の直営収集体制の確保が必要と考えている。なお、リサイクルプラザについては民間委託し、福岡リサイクルセンターでは直営で運営している。



二上 桂介
自民クラブ

感染予防の徹底

問 新型インフルエンザが社

会に与えている影響についてどのように認識しているのか。

市長 感染力が強く、国民の20%の発症が予測され、重症化する場合があるなど、市民生活に与える影響は大きい。今後は、感染予防対策の呼び掛けを強化するとともに、国、県、医療機関と連携し、情報の収集、提供をしていきたい。

環境にやさしいまちづくり

問 欧州で事業化されているハitekを活用したレンタサイクルシステムを導入しては。

生活環境部長 本市では、末広開発(株)への委託により、レンタサイクル事業を展開し、利用数は着実に伸びている。平成21年度はニーズ調査を実施し、利便性と回遊性の向上のための方策を検討している。ハitekを活用したシステムの導入は観光面で有用な施策だが、専用自転車の配置など課題が多く、今後検討していきたい。



上田 武
社民クラブ

無料化の拡大

問 小学校6年生までの入院医療費無料化の拡大への前市

長の決意をどう引き継ぐのか。その検討内容と実施の決意は。

市長 子育て世代の多様なニーズに応じた支援体制の充実が重要だが、助成対象を平成20年10月に小学校3年生まで拡大したところであり、今後の事業費の推移を見ながら検証し、総合的に判断したい。

若者の雇用対策を

問 高等学校卒業予定の就職希望者に対する求人状況と求人開拓に向けた取り組みは。

産業振興部長 高岡公共職業安定所管内では高卒就職希望者425人に対し、求人数は平成21年7月現在で266人と少ない。同安定所では事業所に対し、求人確保の要請や訪問による求人開拓を行い、求人意欲の高い企業の掘り起こしを行っている。本市でも、事業主に対し、求人確保を依頼し、一人でも多く就職できるように努めていきたい。



梅田 信一
自民高岡・新市民クラブ

新ステーションビル

問 高岡駅周辺整備事業について問う。

(1)高岡ステーションビルを解

体し、平成25年度に着工予定の新ビルの概要は。

(2)高岡ステーションビルに入居しているテナントの移転補償を行うための調査の状況は。

都市整備部長 (1)約2千㎡の敷地に、鉄骨造3階建て延べ床面積約5千㎡のビルを建設する予定であり、詳細な設計の最後の詰めを行っている。

1階には、万葉線の電停を有する交通広場を、2・3階には、商業施設、管理施設を整備することとしている。

(2)現在、33店舗が営業している。(株)高岡ステーションビルでは、各店舗の新ビルへの入居や他地域への移転、廃業等の希望を調査すると聞いているが、現段階では把握できていないとのことである。補償については、国が定めた統一的な補償基準である「公共用地の取得に伴う損失補償基準」に基づくこととしている。



向 栄一郎

自民高岡・新市民クラブ

新幹線新駅へのアクセス

問 新幹線新駅周辺と現駅周辺とが連携したまちづくりを進めるうえで、城端線の活用と沿線自治体との連携が欠か

せない。両駅のアクセスについて、関係部局によるワーキンググループの検討状況は。

市長 城端線の運営については、砺波市、南砺市との連携は欠かせないと認識しており、これまでも各自自治体と意見交換等を行っている。また、アクセスについては、ワーキンググループのこれまでの議論の中で、城端線による輸送は、大量輸送、定時制などの点で優位性があるとの認識で一致している。今後、運行方法など諸課題について、さらに議論を深めたい。

AEDの普及のために

問 民間保育園、幼稚園へのAED設置助成の想定件数は。
福祉保健部長・教育長 民間保育園は、市内全園の27園を、民間幼稚園は、申し出があった4園を予定している。



樋詰 和子
公明党

伝統や地域特性の活用

問 産・学・官が連携した金屋町楽市など市民協働事業の推進を図っては。
産業振興部長 金屋町楽市は伝統産業と伝統ある町並みを

活かした新しい試みとして高い評価を得ている。平成21年度はさらに、金屋町の皆さんもイベントに参画し、工芸、生活、産業が同居する「金屋町楽市inさまのこ」として開催する。このイベントをモデルの一つとして、産・学・官・民の連携を図り、個々の特性や専門性を活かした協働事業に取り組んでいきたい。

子育ての負担軽減を

問 産後の母親の精神的、肉体的な負担軽減のため、家事などを手伝う、ヘルパー派遣を実施してはどうか。
福祉保健部長 安心して子どもを産み育てられるよう、養育支援が特に必要な家庭に、保健師が訪問し、指導助言等を行っている。ヘルパー派遣については、先進他都市の事業内容等の調査研究をしたい。



島村 進
社民クラブ

橋市政を引き継いで

問 合併協議の経過を大切に、旧福岡町地域との市民融和に努めてきた前市長の姿勢をどう引き継いだのか。

市長 前市長の新しい一体感の醸成に向けた真摯な取り組みにより、新たなふるさとへの理解が深まった。これを引き継ぎ、地域審議会の議論を尊重し、住民の声を聞き、合併時の約束を誠実に実行し、合併してよかったと喜ばれるまちづくりを行いたい。

環境共生のまちづくり

問 市長が公約に掲げた「高岡エコシティ・プロジェクト」と環境基本計画の関連は。
生活環境部長 環境基本計画に基づき実施する施策をより効果的・重点的に行うためのプロジェクトと位置づけている。エコ社会の実現に向け、市民による積極的なエコ活動の促進やエコ・モデル地区の設定、太陽光発電システムの導入支援等を検討している。



金森 一郎
自民クラブ

高岡のイメージアップ

問 本市では、人口対策が長期的な課題である。特に、若者の市外流出への対策は。
市長 都会への進学者が卒業後も戻らない現状を踏まえ、平成21年度から高校生、県外



自転車の使いやすいまちに

自転車を利用しやすく

問 「自転車de地域デザインin高岡」の提言にある道路の段差や舗装の荒れの解消について、早急に対応すべきでは。
建設部長 これまでも、改善が必要な箇所の把握に努め、順次改善を図ってきている。

報告書の中で指摘のあった箇所については、自転車を利用しやすい道路となるよう、早急に対策を講じていきたい。



野上 達夫
社民クラブ

伝統地場産業の支援強化を

問 市内企業や伝統地場産業の育成に傾注すべきと考えるが、現状をどう把握しているのか。また今後の支援強化は。

市長 販売額、事業所数とも減少し続けているが、重要な産業であり、本市では様々な方向から支援してきた。今後は、新分野への挑戦等が必要であり、意欲ある事業者と産・学・官の連携ネットワークを構築し、企業ニーズに応じて支援体制を整えたい。

伏木港を活かした活性化

問 伏木港の機能を活かしたポートセールズを行い、本市の活性化につなげては。また、ロシア沿岸地方と姉妹都市の締結を。

市長 伏木港は環日本海地域のゲートウェイとなる可能性が大きい。県との連携によるポートセールズに努めたい。また、ロシアとは日口沿岸市

長会への参加を通じ都市間交流を行っており、交流促進に努めたい。



南部 周三
日本共産党

薬物乱用を防ぐには

問 学校教育での薬物乱用防止に向けた教師、児童生徒への指導方針と今後の改善策は。

教育委員長 学校、PTA、自治会主催の薬物乱用防止教室を実施し、児童生徒への指導を行っている。今後とも、教職員への研修の充実など、薬物乱用防止教育の充実に努めたい。

用地活用策

問 旧火葬場跡地及び岩坪地区の斎場建設候補地であった用地の利用策と今後の予定は。

生活環境部長 旧高岡・伏木火葬場跡地は、地元要望も踏まえながら、有効かつ効果的な活用策を検討したい。戸出火葬場跡地は、地元要望に基づき市有地部分を払い下げ、借地部分は原状回復のうえ、平成21年度中に返還したい。

経営企画部長 岩坪地内の用地は、地形、総合計画との整合、事業費などの課題を検討

し、また、地元の協力意向も見極めながら利用可能事業の検討を行いたい。



水口 清志
自民クラブ

中山間地に多面的支援を

問 中山間地は人口減少、高齢化が進んでいる。同地域の産業、生活への支援の考えは。

高田副市長 中山間地で安全、安心な暮らしができるよう行政サービスの確保し、農林業や地域産業の振興、定住促進等を図る必要がある。本市山村振興計画には、その具体的取り組みが示されており、必要な事業を実施していきたい。地域住民や民間活力にも期待しながら、中山間地の生活を側面から支援していきたい。

分離駅となる新幹線新駅

問 富山、金沢は新幹線と在来線との併設駅になる。本市では分離駅となるが、その特徴をどう活かすのか。

都市整備部長 新幹線新駅の利用者が使用する全ての交通手段に対応するため、大規模駐車場の整備や城端線新駅の設置、長距離バス等の乗降場整備を行い、飛越能の玄関

口として、多くの方にご利用してもらええる駅にしていきたい。



曾田 康司
自民クラブ

2014年対策

問 新幹線全列車停車に向けた取り組みについて問う。

(1) 停車本数が少なければ交流人口や都市活力などの低下を招く。全列車停車への思いや意気込みは。



新幹線開業に向け多様な取り組みを

(2) 官民あげて取り組む必要があると考えるが、見解は。また、そのための働きかけは。

市長 (1)(2) 運行ダイヤは、JR西日本が開業直前までに編成するため、現時点で明らかになっていない。経営を優先する観点から一定の乗降客が見込める駅には列車が停車すると考えられる。全列車停車は、利用者の利便性のみならず、広域連携のまちづくりの点で飛越能の自治体共通の重要な課題である。市では、県西部5市、飛騨・能登の自治体を訪ね、利用意向や要望を聞くとともに、新駅を核とした新たな連携施策の推進を呼び掛けた。今後とも関係自治体が力を合わせ、関係機関や市民の協力を仰ぎ、官民あげて全力で取り組んでいきたい。



狩野 安郎
自民高岡・新市民クラブ

政策的な組織体制づくり

問 上下水道事業の統合や公共施設の整理統合などのスクリップ・アンド・ビルドの視点で、効果的な行財政改革を進めていくべきでは。

市長 簡素・効率的な事業運営や組織体制のあり方を検討

していく必要がある、上下水道事業の統合についても、課題の一つと認識している。公共施設については、周辺施設や類似施設の統合を検討するなど、施設機能の集約と整理を進めていきたい。

集団感染の防止

問 小・中学校における新型コロナウイルス感染症の指導状況と、発症時の対応は。

教育長 各学校で、毎朝の健康観察を徹底するとともに、児童生徒と保護者に対し、せきエチケット、手洗い、うがい等の感染予防策を取るよう指導している。発症した児童生徒には、出席停止の措置を取るとともに、状況に応じて、学級・学年閉鎖及び休校などの措置を取ることとしている。



尾崎 憲子
自民高岡・新市民クラブ

男女共同参画の推進状況

問 男女平等推進センターについて問う。

(1)事業の効果をどのように評価しているのか。

(2)市民に向けた講座の効果をどのように評価しているのか
市長 (1)相談事業は、利用件

数が増加傾向にあることから、市民等に相談室が周知され、その対応に一定の評価を受けていると認識している。また、市民との協働による男女平等・共同参画の普及啓発では、「男女平等EXPO高岡」や「Eフェスタ」、共同企画での基礎的講座などに取り組んできており、推進が図られていると考えている。

経営企画部長 (2)受講人数は概ね良好である一方で、受講者の約85%が女性であり、男性への参加呼び掛けや、男性をターゲットにした講座の工夫などが課題である。内容については、受講者との意見交換やアンケートなどから、概ね満足いただける講座を開催できていると考えている。



川島 国
自民高岡・新市民クラブ

住民主体のまちづくりを

問 三重県名張市の「ゆめづくり地域予算制度」を参考に、地域住民が積極的に関わる地域づくりを目指しては。

福祉保健部長 名張市の制度は、誰もがいきいき暮らすことができる地域を作るため創設され、福祉・健康のまちづ

くりにおいて、住民が自ら考え解決する意識が向上したとのことである。本市で検討中の「地域ぐるみの福祉・健康のまちプロジェクト」も、共通の考え方である。

環境に配慮したまちづくり

問 環境共生を重点においた福岡中央地区まちづくりでは、モデル的に街路灯をLED（発光ダイオード）化しては。

福岡総合行政センター所長 福岡中央地区まちづくりは、「自然・環境を大事にするまち」を都市再生整備計画の整備方針に掲げている。街路灯のLED化については、低消費電力である等の地球温暖化対策にメリットがあり、導入の検討を進めたい。



金平 直巳
日本共産党

医療費無料化の働きかけを

問 定住促進策として小学6年生までの医療費無料化実施と、未就学児の医療費無料化が国の制度となるよう要請を。

市長 平成20年10月に小学校3年生まで無料化を拡大したところであり、現時点では、事業費や効果などのデータが

不十分なため、判断材料が揃った段階で検証し、判断したい。国による子どもの医療費無料化については、全国市長会において重点要望事項として国へ要請しており、引き続き、働きかけていきたい。

後期高齢者医療制度

問 総選挙により、制度の廃止が民意と示された。廃止を国に要請すべきではないか。

市長 これまで、制度の周知に努め、一定の理解を得られたと考えている。安易な変更や廃止は高齢者、医療関係者等の混乱を招く恐れもある。国が十分に議論し、国民が納得する、より良い制度を示されるよう、全国市長会などを通じ働きかけていきたい。



子育て支援で定住促進を



杉森 利二
公明党

税収不足の影響

問 税収不足や交付税の減少により、合併特例債等への依存が強まると考えるが、合併特例債の総額と今後の計画は。

経営企画部長 これまでも、事業を進めるに当たっては、財政上有利な財源を活用してきている。中でも、合併特例債等が高い充当率や交付税措置があるなど有利な財源であるといえる。合併特例債の発行限度額は181億円であり、期限である平成26年度までに高岡駅周辺整備事業、福岡駅前土地区画整理事業等に充てていきたい。

環境施策の推進

問 環境基本計画の早期策定とそれに基づく施策の推進を掲げているが、今後の計画は。

市長 環境基本条例に基づき、平成21年度内を目途に計画を策定したい。計画では森林整備や自然エネルギーの活用などの施策を盛り込む予定であり、こうした施策を積極的に推進し、環境共生のまちづくりの実現に努めたい。

委員会の動き

4 常任委員会では、委員が次の観点に立って当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆本庁舎と福岡庁舎に設置予定の太陽光発電装置の発電量と二酸化炭素削減効果は。

◆昭和40年代後半に建設された市立公民館の改修が必要と考えるが、改修の基準と計画は。

◆国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を財源とした大型の補正予算であるが、分割発注など、地元業者の多くに受注機会が与えられるような配

慮が必要では。
◆昭和38年建築の戸出西部小学校体育館には、地元から建て替えの要望も出されているが、対応予定は。

◆戸出東部小学校体育館改築工事の入札に当たり、資材価格の変動が設計価格に反映されているのか。



「利長くん」かかしも開町400年を祝福

○民生病院常任委員会

◆公立保育所の冷房施設の設置について、実施箇所数は。また、今後の整備の見通しは。

◆出産育児一時金が暫定的に42万円に引き上げとなるが、出産費用が下回った場合、その差額分も支給されるのか。

◆ごみ収集車のハイブリッド化を進める場合、財政負担はどの程度見込まれるのか。

◆一般住宅用太陽光発電システム設置補助事業の、平成22年度以降の財源はどう確保するのか。また、補助金額をどのように決定したのか。

○経済消防常任委員会

◆金屋町楽市の平成20年度の入り込み客数と21年度の目標は。

◆漏水した伏木地区のため池

の補修を、補正予算で行う予定は。

◆政権交代の地方財政への影響が不透明な中、地域活性化・経済危機対策臨時交付金の交付状況と今後の見通しは。

◆更新を予定している伏木消防署の広報車の経過年数は。

○建設水道常任委員会

◆国の補正予算が凍結されるとの報道もあるが、各事業への補正予算のあり方をどのように考えているのか。

◆道路改良事業について、年々道路予算の削減が進む中で、各地区からの要望への対応はどう考えているのか。

◆国の補助メニューを活用して下水道整備を行うとのことだが、整備箇所は。

◆高岡駅周辺整備事業で、駅構内にエレベーターやエスカ

レーターを設置するが、実際に使用される体の不自由な方などから意見を聞くなどの仕組みづくりが必要でないか。

編集後記

初冬に入り本号が届く頃は市議会が新体制でスタート。親しみやすい市議会だよりにするため、質問者の写真や名前を掲載しておりますが、9月定例会号は市議会議員選挙への配慮から配布を遅らせることとなりました。

高橋市政が本格的に始動した中での9月定例会。経済不況により、市税収入も大幅減となる中、今後の財政運営、開町400年後の活力ある取り組み、子育て支援や安心の福祉施策と活発に議論が展開され、登壇者も多数となりました。

一人ひとりの声を大切にする市政と魅力ある高岡発展のために積極的に提案、議論する議会を構築してまいりますので、皆様のご意見もお待ちしております。

★編集委員

◎青木、◎梅田、石須、金森、酒井、曾田、南部、樋詰、高島、大井 正樹

(◎委員長 ○副委員長)

12月定例会の予定

12月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

- 4日(金) 11時 議員協議会
13時 本会議
(市長の提案理由説明)
- 8日(火) 10時 本会議 (代表質問)
- 10日(水) 9時 議会運営委員会
10時 本会議 (個別質問)
- 11日(木) 10時 本会議 (個別質問)
- 15日(月) 10時 総括質問
- 16日(火) 13時 民生病院常任委員会
13時 経済消防常任委員会
- 17日(水) 10時 議会運営委員会
13時 建設水道常任委員会
13時 総務文教常任委員会
- 21日(日) 9時30分 委員長会議
10時 議会運営委員会
11時 議員協議会
13時 本会議
(議案・意見書など議決)

❖ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本議会	委員会
20年12月	49人	1人
21年 3月	71人	1人
21年 6月	140人	0人
21年 9月	64人	1人